

# 平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」における 木津中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 25 年 4 月 24 日（水）に、3 年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。ただし、調査結果および調査結果から明らかになった現状の一部については、調査参加学年が単学級であることから公表いたしません。また、11 月の学校協議会においては、平均正答率を含む調査結果や今後の取り組み等について報告・説明を行っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年の原則として全児童生徒
- ・本校では、3 年生 31 名

## 3 調査内容

- (1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・数学 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・数学 B】
<ul style="list-style-type: none"><li>・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容</li><li>・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力</li><li>・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など</li></ul>

- (2) 児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査</li></ul>

## 平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大阪市立木津中学校

生徒数

31名

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題



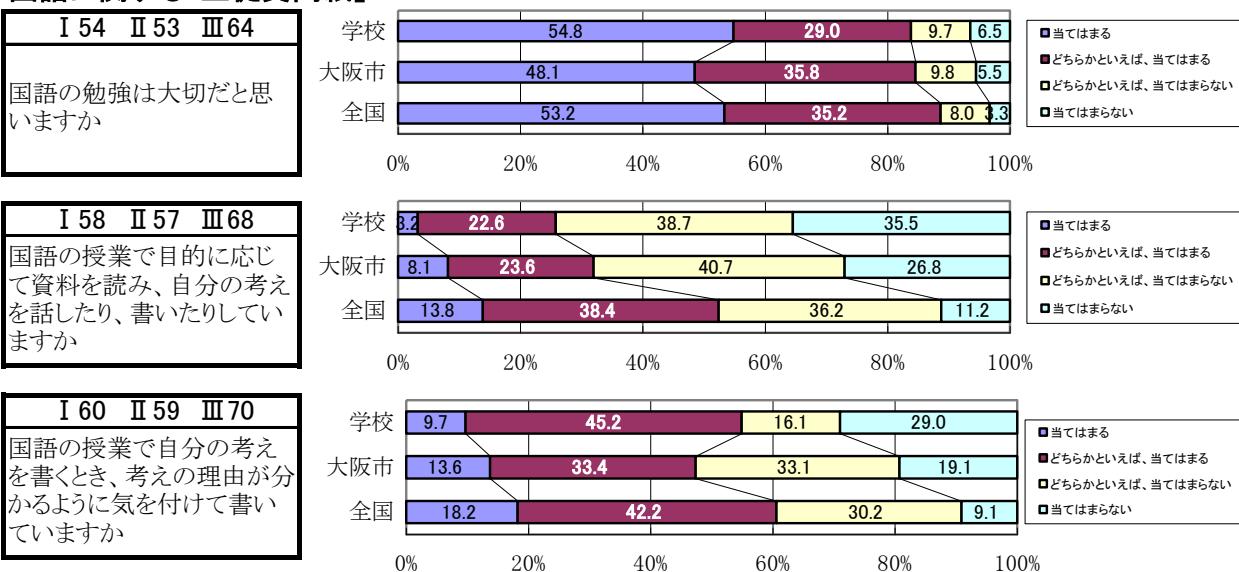
- ・昨年度の結果と比較すると全体として概ね改善傾向が見られる。このことから、本校で取組んでいる習熟度別少人数授業の取り組みや水曜日に設定している補充学習、放課後の個別指導を粘り強く丁寧に行っていることが、基礎学力の定着に効果を表してきていると考えられる。今後も、引き続き、補充学習の充実を図るよう取組んでいく。
- ・また、自尊感情や規範意識については、昨年度同様、肯定的な回答が高い割合を示している。このため、生徒は落ち着いた環境で学校生活を送ることができている。このことは、結果的に学力の向上にもつながっていると思われる。今後も、生徒一人一人に寄り添った生活指導を基本とし、学校行事等を通じて、規範意識の醸成や自尊感情を育めるよう取組みを進めていく。
- ・基本的生活習慣が十分に身についていない傾向が見られ、家庭学習や自学自習の習慣を定着させることが課題である。また、生徒の興味関心を引き出し、思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫など、さらなる指導方法の工夫改善も今後の課題である。今後は、小学校とも連携しながら、基本的生活習慣の定着に努めるとともに、校内研修会の実施など指導方法の工夫改善にも取組んでいきたい。
- ・今年度、図書館の環境改善を図ることができたので、今後、図書館を活用し、読書習慣の定着や言語活動の充実を図り、学力の向上につなげていきたい。

## 【国語】

### 成果と課題・今後の取組

- ・自分の考えをまとめて答えることに苦手意識が見られる。また、漢字や語句の意味についても一部課題が見られる。
- ・漢字等の小テストに毎時間、取組んでおり、テストの予習としての漢字練習の提出率も高くなっているので、この取組みを継続して取り組み、さらに基礎学力の定着を図っていく。
- ・文章表現についても根気強い指導を継続しておこなっていく。

### 国語に関する「生徒質問紙」

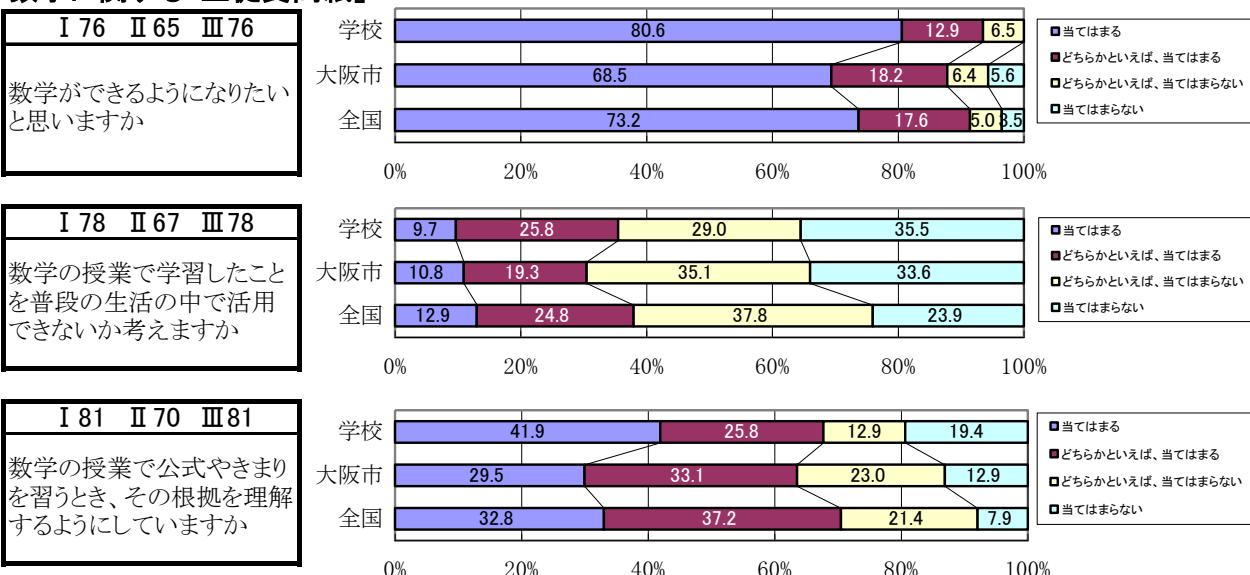


## 【数学】

### 成果と課題・今後の取組

- ・計算や図形など基本的な事項を授業の中で繰り返し練習させることで定着が図れてきている。
- ・関数領域の正答率が低いことから、数学的な見方・考え方の定着を図る必要がある。
- ・生徒質問紙から学習に対する意欲は高いが、無回答率が高いなど下位層の底上げが必要である。
- ・今後、さらに教材の工夫、指導方法の工夫改善を図っていく。
- ・基礎学力の定着のために引き続き、計算等の反復学習に取組んでいく。

### 数学に関する「生徒質問紙」



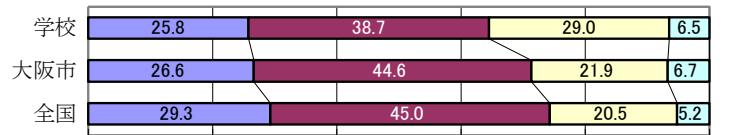
## 基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

### 成果と課題・今後の取組

- ・学校行事等の取り組みや生活指導の充実が、自尊感情や規範意識を育むことにつながっている。
- ・基本的生活習慣の乱れは学校生活にも影響を及ぼしており、その改善が必要である。
- ・引き続き、学校の教育活動の充実を図っていき、子どもたちが充実した学校生活を送れるように努めていく。
- ・保護者との連携を密にし、保護者や子どもへの啓発を充実させるとともに、関係諸機関とも連携を図りながら、基本的生活習慣の定着に努める。

I 2 II 2 III 2

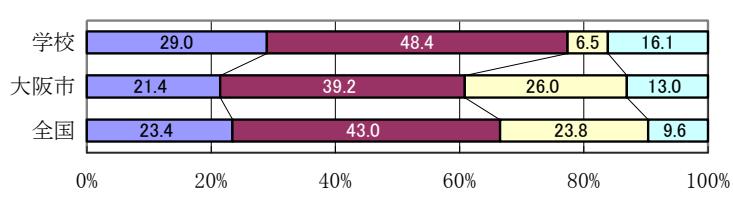
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



■している  
■どちらかといえば、している  
□あまりしていない  
□全くしていない

I 6 II 6 III 6

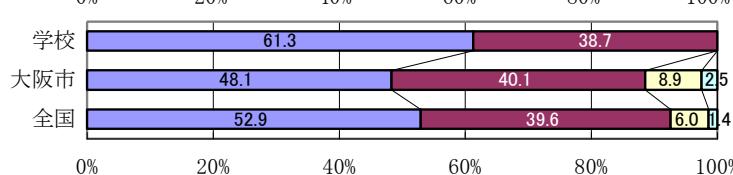
自分には、よいところがあると思いますか



■当てはまる  
■どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない  
□当てはまらない

I 44 II 41 III 45

学校の規則を守っていますか



■当てはまる  
■どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない  
□当てはまらない

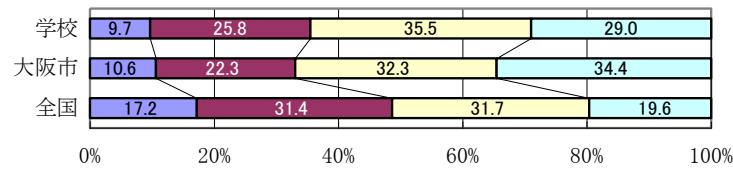
## 家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

### 成果と課題・今後の取組

- ・宿題は定着しているが、自学自習の定着を図ることが必要である。
- ・授業規律は確立しているので、子どもの思考力、判断力、表現力を高めることが必要である。
- ・図書館の環境改善を図り、読書習慣の定着を図っていく。
- ・指導方法に関する研修を充実させ、指導方法の工夫改善をおこなっていく。
- ・小学校とも連携し、家庭学習の習慣化を図っていく。

I 32 II 27 III 37

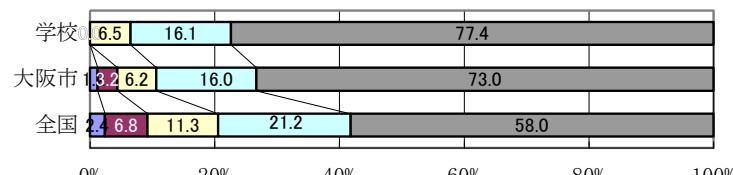
家で、学校の授業の復習をしていますか



■している  
■どちらかといえば、している  
□あまりしていない  
□全くしていない

I 56 II 55 III 66

本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館にどれくらい行きますか



■だいたい週に4回以上行く  
■週に1~3回程度行く  
□月に1~3回程度行く  
■年に数回程度行く  
□ほとんど、または、全く行かない

I 52 II 51 III 61

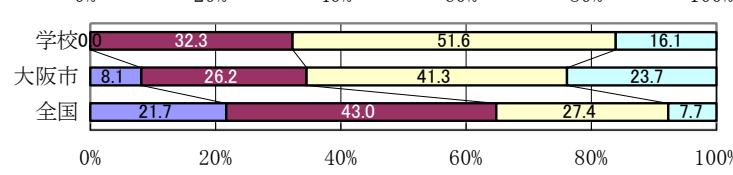
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか



■難しいと思う  
■どちらかといえば、難しいと思う  
□どちらかといえば、難しいと思わない  
■難しいと思わない

I 50 II 48 III 57

普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



■当てはまる  
■どちらかといえば、当てはまる  
□どちらかといえば、当てはまらない  
■当てはまらない